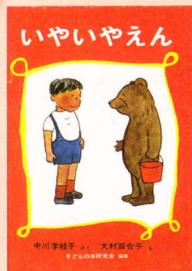


古川圭子さん 思い出の一冊



作品名：『いよいよえん』
さく：中村李枝子
え：大村百合子
出版社：福音館書店

子どもの頃、大好きで毎日のように繰り返し読んでいました。赤色の山に近づいたら、たくさんのリンゴの木が、黄色の山に近づいたらたくさんのバナナの木が植わっているフルーツの山。子どもたちが木の間を歩き来しながら登る話は楽しく、今でもお気に入りの場面です。

子どもが生まれた時、この物語を読んであげたいと書店に行きました。昔と変わらず棚に並んでいて、見つけた時はうれしかったですね。子ども

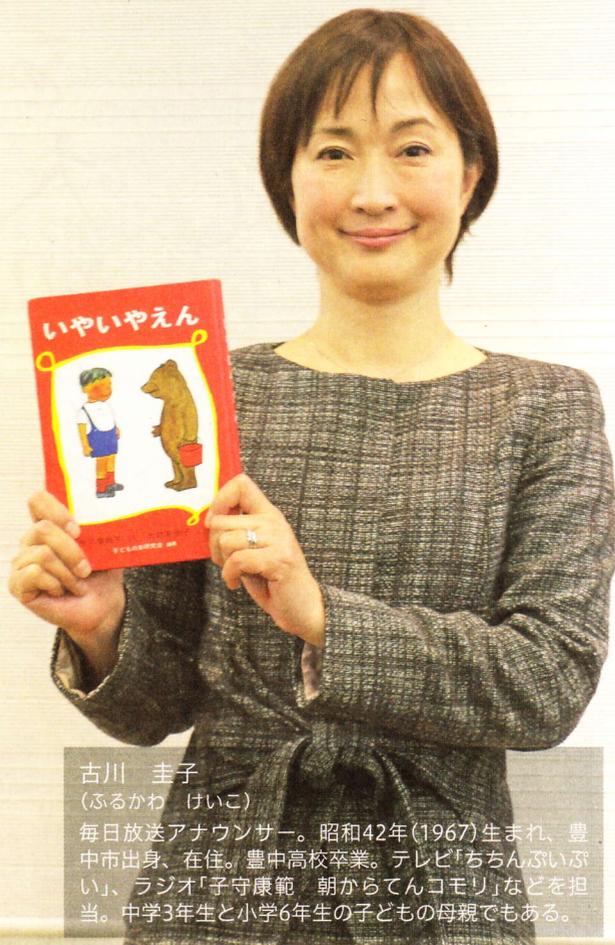
いつまでも親子で楽しめる物語

私たちも大好きになってくれ、毎晩のように「読んで！」と。でも、私がアナウンサーらしく忠実に物語を読むよりも、夫がおおげさに演技して読む方が、子どもたちは好きだったみたいですよ。

この本のおかげで、寝る前の貴重な「ふれあい」の時間を過ごすことができました。自分が好きだった絵本を自分の子どもも楽しんでくれる。そんな絵本のよさに改めて気付かされた一冊です。



私の本棚



古川 圭子
(ふるかわ けいこ)

毎日放送アナウンサー。昭和42年(1967)生まれ、豊中市出身、在住。豊中高校卒業。テレビ「ちんぷいぷい」、ラジオ「子守康範 朝からてんコモリ」などを担当。中学3年生と小学6年生の子どもの母親でもある。

***** 図書館でもっと詳しく *****

古川圭子さんは、桐竹勘十郎『なにわの華 文楽へのいざない 人形遣い』や、仕事と子育ての両立に悩む母親たちの経験から生まれた『リーママたちへ』もお気に入りに。お勧めの本は、2月の高川図書館(豊南町東)をスタートとして各図書館内にある展示スペースに特設コーナーを設けて紹介します。